

塾長の独り言 NO152 H23.9.5

感性論哲学 問題を恐れない！」

先週、9月3日(土曜日)に感性論哲学、芳村思風先生の話をお聞きに行ってきました。

本も読んでいますし、何度も聴いているのですが、やはりいいですね。

何故か？それは哲学・思想は本質を捉えているからです。

もし、それをテクニックやただの知識として聞いていたら、どうなのか？

「あ、それ知っている。以前、聞いた。」

などと表面上だけをかじって、本質を見抜いていないのかも知れませんね。

私自身もその点を特に注意して、受講生として聴いております。

さて、その中で、こんな話がありました。

とっても面白いので、ご紹介します。

「天災は、忘れたところにやってくる！」

有名な諺ですが、では何を忘れたところにやってくるのか？

「天災は、を、忘れたところにやってくる」

さて、皆さんなら にどんな言葉を入れますか？

天は・・・何を教えようとしているのか？

何を気づかせようとしているのか？

何を学ぶべきか？と言っているのか？

そこにヒントがあると・・・例えば3.11の大震災の前と後ではどう違うのか？比較してみればわかる。

対立と協力・協調

多数決原理(量)から統合的集約(質)

などなど……

人間は不完全な存在である。

よって、問題は必ず生じる。

だから、問題は恐れてはならない！！

「問題が出てくることによって、進化・成長する」

だから・・・変化は良いことなんだ。

「問題障害は悪いことではない、良いことなんだ」

この考え方が感性論哲学(東洋哲学)です。

愛の力とは、考え方の違う人といっしょにやっていく 他から学ぶことが出来る。

勝つことよりも、力を合わせて協力していくが大事。

<コメント>

いかがですか？

考え方を少し変える事によって、見える景色が違って見えるはずです。

素直に、真摯に、その現象の本質を捉える事で、大きなヒントがあると感じますが、いかがですか？